

第 3 回 意見交換会 要旨

開催日時	1 2 月 3 日 (月) 1 9 時 0 5 分 ~ 2 1 時 1 0 分		
市町村名	波 田 町	グループ名	
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

前回の記録の確認

意見交換

今回が最終の意見交換会のためとりまとめとして各人で意見を

- ・ 松本系魚川連絡道路の期成同盟会に町長は出席したようだが、どういう考えが必要であるとかが出たのか・・・ (波田町長) 今回の期成同盟会では、促進の願いで具体的話はない、松系が必要という前提で集まっておりなぜここが必要であるということはなかった、出席者は各市町村の首長、商工会長が中心で産業振興・経済発展が中心のいう感じを受けた、一般論としては、安曇野の西側の道路の渋滞がひどく環境を破壊しており何とか高速道でなくとも、もう1本道路をとということで、アルプスを中心とした周遊圏で観光、地域興しということを感じた(そういう説明があったわけではないが)
- ・ 全部の市町村出ていたのか・・・ (町長) 新潟県はいなかったが、長野県は松本から北は全て出ていた
- ・ 平成元年の松本周辺地域活性化構想という冊子、これは企業の代表や県がとりまとめたものであるが、この中で地域高規格幹線道路と高規格道路でアルプス回廊周遊ルートをネットワークするという構想が記されている、バブル絶頂期の構想を受け今この松系が載ってきている、この時期の莫大なお金を使って造るメリットはあるのか、半年くらい前の朝日新聞に長野県内の高速道路の収支が載っていたが、安房トンネルは赤字である、今バブルがはじけて中部縦貫を安房につなげても赤字、松系も有料ではないが費用対効果は小さいはず、松系は大町までは高規格道路いらない、中部縦貫も一般バイパスで安房までつなぎ、環状高家線が4車の計画があるというのでこれで松本西部の東西南北の大動脈になる、改めて高規格道路はいらないのでは
- ・ 道路特定財源はガソリン、軽油、取得税などあらゆるところからとっており毎年6兆円、道路マンという怪獣がいてなんとしても使わなくて行けないということで道でも何でも造る、ほとんどがこういった高規格道路、一般道にも少し使っているが、高規格道路1kmあたり30~50億円ということで、公社との癒着のようなそういう構造を直さないと行けない、住民の要望しない道路を造ってしまう、松系本当に必要なのか、本四架橋と同じで、何本も必要ないのでは、道路のどこぼこを直すとかもっと使い道がある、特定財源があるせいで、今度どこ造る今度どこ造るで地図上を埋め尽くすまで造るようだ、生活道路の改善にもっと力を入れて貰いたい、もう松系は無駄な道路だと思う

- ・ 誰のために道路を造るのが見えてこない、そこに生活する人が豊かになり町全体がというところが見えてくれば、必要であれば赤字でも道路は造るべきだということになるが、松電と国道の横断が不自由なことはずっと前からのこと、なぜ、何もしてないのか、町、県、国でそれぞれバラバラ、町道森口線は新幹線以上に騒音振動がひどい町にお願いしても調査すらしてくれない、住民のためのアセスメントになっていない、森口線広くしたので歩道になるかと思っていたら側溝を付けて舗装して全部車道になってしまった、側溝の蓋がたがたしてよけい騒音がひどくなった、そこに住む人の利便性に基づくアセスが見えてこない、町、県、国の一体感が感じられない
- ・ 住民の望むところでなくそのときの首長などの判断で進んでしまっている、せっきくの税金だからこそ道を造ればという意見があったが、せっきくの税金だからこそ住民のために使うべき、県も破産に近づき町も財政状況が厳しく合併の方向を模索、国もここで高規格道路を造るなどという余裕はないはずで見直しが必要、税金の使い方はいかに住民に還元、住民参加ということは当然のことで納得してこそ納税である、これからは人間優先の物づくりで車は次でいいのでは、観光面でも道路を造って自然破壊をするよりも自然をいかに残してホッとすることがあることが観光面の向上となるのでは、長野市が新幹線の開通で日帰り不況となり、乗鞍も安房の開通で宿泊者が減っている、通過地点に成ったことで上高地以外は観光的にも難しいのでは、良いと思ってやったことでもこういうこともあるから税金は人のためによく考えて、松糸は高規格ではいらないと思う、どうしてもということなら豊科からで川沿いなどを利用して、小谷の方では災害の起こらない道づくりをしてはどうか
- ・ むなし論議になってきた、昭和61年波田町町議会高速道対策委員長が国へ行って中部縦貫5kmを決めてきてアクセス道路で渋滞対策道路そしてこじつけで松糸の起点波田へ、今日の新聞報道によれば中部縦貫は崩れ去った、住民のためでなく一人の思いつきで決まったことが全ておかしくなった、まさに知事の発言のとおり環境アセスメントでなくアワセメントのようなもの、高速道路の塀が高くて景色が悪いので2階建てのバスを造りそれで上高地へ来て問題になるようなもの、基本を見直し無駄なものはやめるということだ、どうしても必要であるならそのとき見直せばよい
- ・ 渋滞対策道路をきっかけに色々勉強をするようになった、住民が二の次になっている、そこに住んでいる人たちの考え古い考え方から変えないといけない、行政のやることにし異議を言わないという古い考えでは町自体は良くならない、道のことに限らず住民が二の次で進む場面にいくわすことがある、どこまで住民の考えが行政に響くのかだ
- ・ 私の運転でも山麓線を通れば大町まで不自由なく行ける他の道だと多少大型車が多いが何本も道はいらない、デメリットの自然破壊が大きすぎるので松糸はいらないと思う、波田町の中で道を直すお金があるはずなのに歩道と車道の区別のあるところが少ない、歩行者としての道を少しずつでも造ってほしい
- ・ 社会全体の流れで国の経済状態を考えると道路などやりたくてもやれない状況にあると思う、時代に流れの象徴的な意見が出ていると思う、今ある道路を修復したり広げるなど賢い使い方があるはず
- ・ この会は反対の会でない、よって意見の集約もしない、また、この会が波田町全体の意見でないことも承知の上の前提で行ってきた、この意見交換会が波田町のケーブルTVで流れていて、ある人からおまえは道路の反対派かといわれた、未だにそういう認識の人がいる、賛成の人の意見を聞いてみたらある人は賛成だから出ていく必要はない、行かない人は皆賛成だ、これが声なき声だということを言っていたので一応お話ししました
- ・ 賛成反対よりも今までのプロセスが違っていた、環境アワセメント

- ・ 道路をお金を使って造るなら住んでいる人に良くならなければ、松糸が無くても今現在波田町に住んでいて損をしたこと無いということはいらないということ、商業振興とかといっても今は潰し合いの状況、町民の利益にならない道を考えるよりも町の中の道について考えるべき、まずはそれを直していけばそんなに不自由なことには成らないと思う、小さい子供がいるのでやはり歩道のこととかが気になる

くれぐれも賛成反対ということではなく、結論を求めないということで、今のそれぞれの意見をこのグループの3回のまとめとする

以下、松糸の意見交換会からやや離れ波田町の問題についての話し合い
(意見交換会記録の要旨としては省略するが内容について概略を記す)

今、町で合併の問題がこれからの町の方向性、町のビジョン、その中での道路の全体の話に関係してくるということで市町村合併の波田町の状況ということを少し今日は聞いて今後の道路を含めた話し合いの基としていきたい

ということで、波田町政策室から市町村合併の現状について説明を受ける
(要 旨) 町用意の資料配付

- ・ 国からの財政的優遇措置を受けるためには方針決定のタイムリミットが来ている(H14夏頃まで)
- ・ 今後、町で住民の意見を聞いていく

合併の話し合いが今後ある中で今日のこのことを起爆剤にしてみなさんが参加していくことが波田町の将来につながる